

1 月 9 日：薄商いの中で小幅上昇

ホーチミン市場では 1 週間の初日の取引は小幅上昇で終えた。ベトコムバンクの上昇が寄与したが、他の大型優良株は弱含んだ。

VN 指数は 0.26% 上昇して 1,054.21 ポイントで引けた。同指数は先週、4.4% 上昇していた。

流動性も減少し、出来高は 4 億 75 百万株、売買代金は 8.5 兆ドン（約 3 億 60 百万ドル）に減少した。前営業日からそれぞれ 32%、29% 減となった。

大型株の上昇の勢いは午後に弱まった。時価総額の大きい銘柄で構成される VN30 指数の構成銘柄のうち、上昇は 16 銘柄、下落が 10 銘柄、変わらずは 4 銘柄だった。

大型株の中ではベトコムバンク (VCB) が堅調で 3.5% 上昇し、ビンググループ (VIC、-2%)、BIDB 銀行 (BID、-1.6%)、モバイルワールド (MWG、-2.7%) などの下落の影響を軽減させた。

セクター別では、物流セクターが 1.4% 上昇し、金融情報サイトの Vietstock.com によれば 25 セクターの中で最も堅調だった。他にはベトジェット (VJC、+1.3%)、ベトナム航空 (HVN、+5.3%)、Vicem ロジスティックス (HTV、+4.9%)、ペトロベトナム・トランスポートレーション (PVT、+1.2%) などが堅調に推移した。

半面、小売セクターは売りに押され平均で 2.7% 下落した。モバイルワールド (MWG) に加え、FPT デジタル (FRT) が 2.9% 下落するなど目立った。

ロンベト証券のアナリストによれば、VN 指数が 1,065 ポイント付近の抵抗線に接近するにつれ、市場の上昇トレンドは一服し伸び悩んだ。VN 指数がこの付近に接近すれば投資家は様子見となり、売り圧力が台頭してくるとのことだ。

「ここ数日の上昇で、市場は今後数日で、売り圧力がくすぶっている中で均衡状態が調整される局面も予想される。投資家は近い将来の需給の変化を注視する必要がある」と、アナリストのフォン・グエン氏は述べた。

反対に、ハノイ取引所の HNX 指数は 0.47% 下落し 209.67 ポイントで引けた。先週は 2.6% 上昇したが、週の後半にかけては下落基調だった。

出来高は金曜日から 33% 減少し 48 百万株、売買代金は 23% 減少し 7,550 億ドン（約 32 百万ドル）となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。